

日本の文化を世界に発信するための 国立京都国際会館の機能強化について

【関係省庁】財務省、国土交通省

京都府・京都市共同提案

国立京都国際会館における多目的ホールの整備の促進

京都では、「しつらえ」と「もてなし」の心で国際会議の誘致を積極的に進めており、国立京都国際会館の機能強化のため、平成 26 年度政府予算において 2,500 名規模の新ホール設計費等を計上していただいたところである。これは、日本の文化芸術を世界に発信するに当たり非常に大きな力となるものであるが、国際会議場の国際標準は 5,000 名規模の多目的ホールとなっていることから、更なる施設の拡充整備を早急に進めていただきたい。

< 現状・課題等 >

国立京都国際会館の概要

- (1) 所在地 京都市左京区岩倉大鷲町 4 2 2 番地
(2) 敷地面積 156,000 m²
(3) 主な施設一覧

建築概要	構造等	竣工・開館年月	延床面積
本館	地下1階，地上6階， 塔屋2階 (増築部分 ：地下1階，地上3階)	昭和41年5月 (増築 ：昭和48年1月)	33,641 m ²
イベントホール ロッジ(宿泊棟)	地下1階，地上3階	昭和60年4月 昭和61年5月	8,608 m ²
アネックスホール	地下1階，地上3階	平成10年3月	4,146 m ²

平成 26 年度国土交通省予算

国立京都国際会館 官庁営繕費 6,200 万円

国内外の主要な国際会議場の状況

国名	会議場名	大会議場収容数
日本	国立京都国際会館(現行)	1,840名
日本	国立横浜会議場(パシフィコ横浜)	5,000名
日本	東京国際フォーラム	5,000名
日本	大阪国際会議場	2,754名
アメリカ	ワシントン州立会議センター	7,500名
イギリス	アールズコートアンドオリンピア	22,000名
カナダ	モントリオール会議センター	4,000名
ドイツ	ベルリン国際会議センター	5,008名
フランス	パリ国際会議場	3,700名
シンガポール	シンガポール国際会議・展示場	12,000名
中国	ホンコン会議・展示センター	8,000名
韓国	コエックス会議・展示センター	7,000名
オーストラリア	メルボルン国際会議場	5,500名

京都が、積極的に誘致活動をしたものの国立京都国際会館のスペース不足により、開催が見送られた会議の代表事例

年度	国際会議名	要請スペース	開催地
平成 14 年度	国際感染症学会	3,000 人程度の会議スペース 4,000 m ² の展示場 10 の分科会会場	シンガポール
平成 14 年度	第 14 回 世界心臓学会議	5,000 人規模の会議スペース 1,000 人収容のホール(3 箇所) 200 人収容の会場(10 箇所)	オーストラリア
平成 25 年度	国際小児科学会	5,000 人程度の会議スペース 12,000 m ² の展示場	オーストラリア
平成 25 年度	国際腎臓学会	3,000 人程度の会議スペース 10,000 m ² の展示場	香港
平成 25 年度	世界肺癌学会	5,000 人程度の会議スペース 10,000 m ² の展示場	オーストラリア

【京都府の担当部局】

知事直轄組織 国際課 075-414-4313